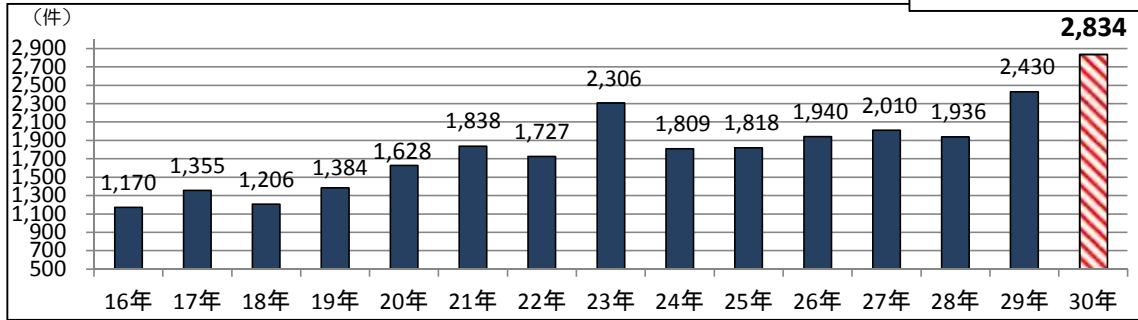


エゾシカが関係する交通事故発生状況(道内)

※ 平成30年の数値は、平成31年2月4日集計

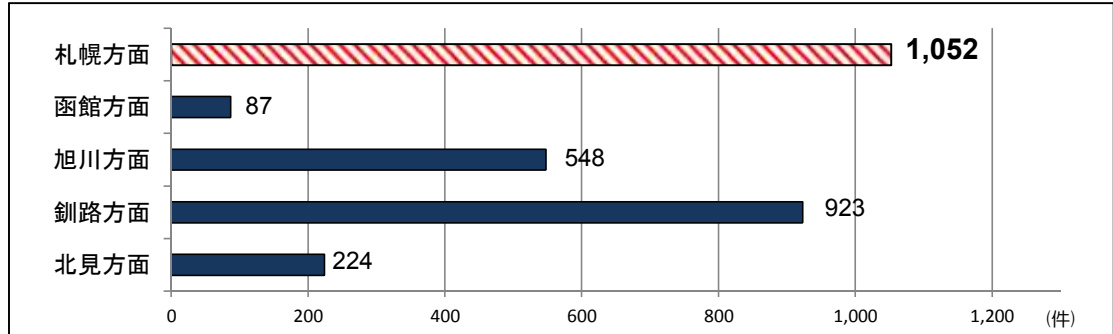
1 年別発生状況(過去5か年)

平成30年は、北海道の記録が残る平成16年以降最多となり、平成16年の約2.4倍となった。



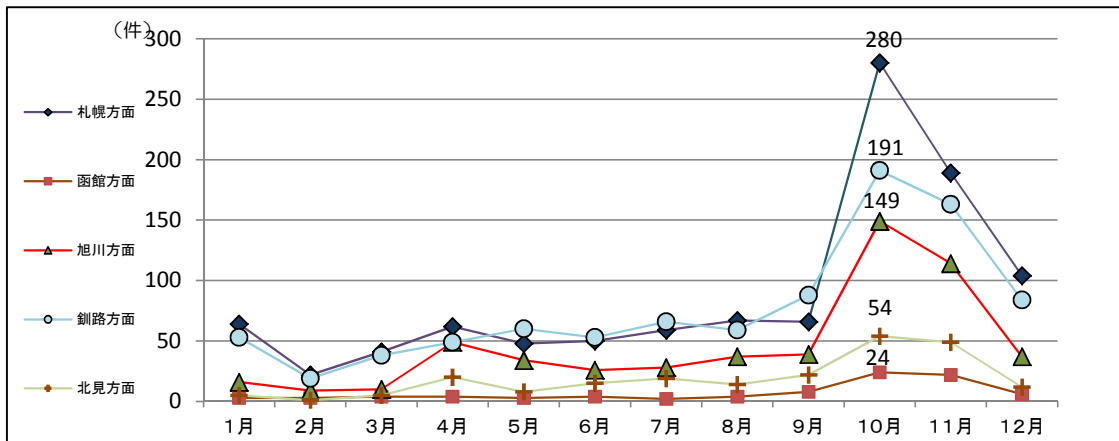
2 方面別発生状況(平成30年)

札幌方面での発生が最も多くなっており、全体の37.1%を占めている。



3 月別発生状況(平成30年)

10月の発生が最も多く、10月の全方面合計は、全体の24.6%を占めている。

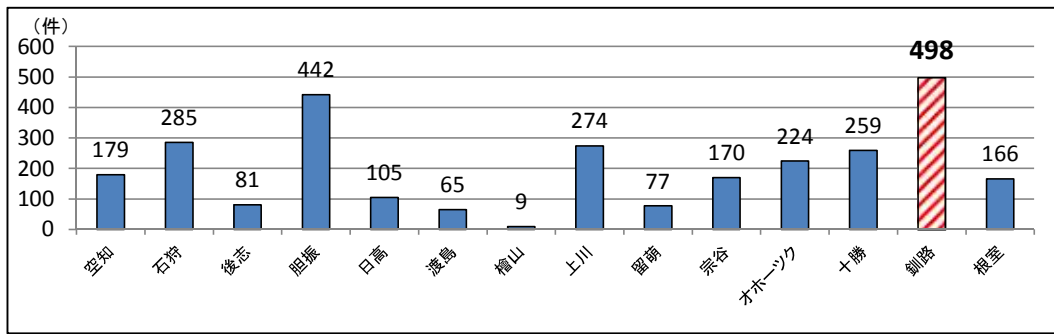


区分\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
札幌方面	64	22	41	62	48	50	59	67	66	280	189	104	1,052
函館方面	3	3	4	4	3	4	2	4	8	24	22	6	87
旭川方面	16	9	10	49	34	26	28	37	39	149	114	37	548
釧路方面	53	19	38	49	60	53	66	59	88	191	163	84	923
北見方面	5	1	5	20	8	15	19	14	22	54	49	12	224
合計	141	54	98	184	153	148	174	181	223	698	537	243	2,834

単位:件

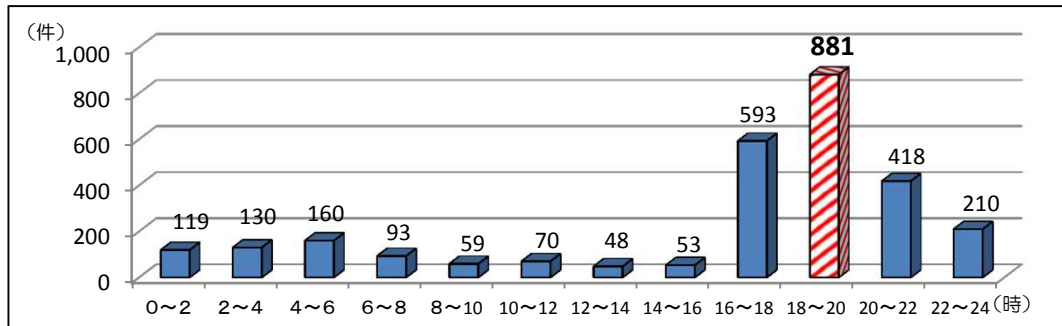
4 振興局別発生状況(平成30年)

釧路総合振興局での発生が最も多く、全体の17.6%を占めてる。



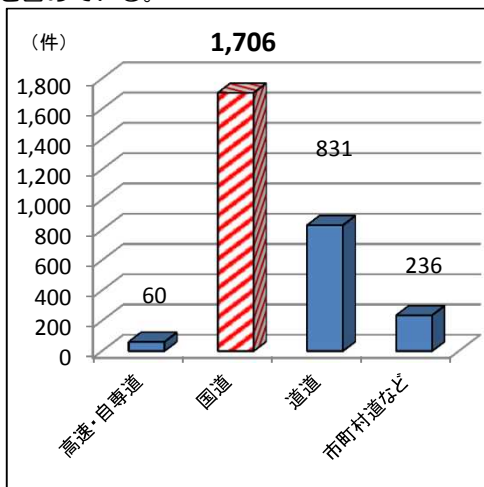
5 時間別発生状況(平成30年)

18~20時の発生が最も多く、全体の31.4%を占めている。



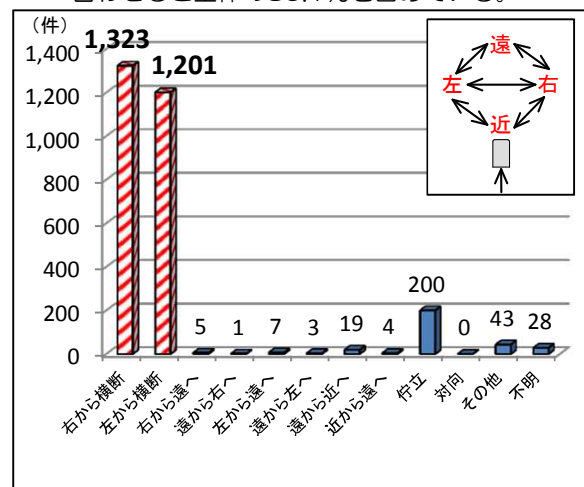
6 道路別発生状況(平成30年)

国道での発生が最も多く、全体の60.2%を占めている。



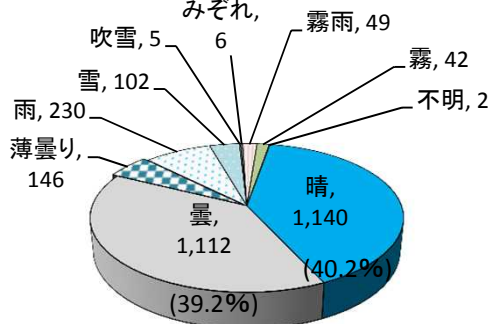
7 鹿の進行方向別発生状況(平成30年)

右から横断・左から横断が多く、合わせると全体の89.1%を占めている。



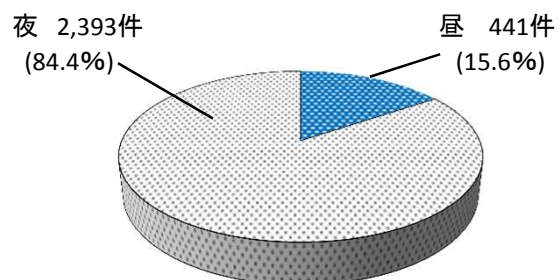
8 天候別発生状況(平成30年)

晴天時の発生が最も多く、全体の40.2%を占めている。



9 昼夜別発生状況(平成30年)

夜間の発生が最も多く、全体の84.4%を占めている。



※ 交通事故件数は、全て鹿自体と衝突した交通事故件数ではありません。例えば、鹿を避けようとして交通事故を起こした場合も件数に含まれます。

